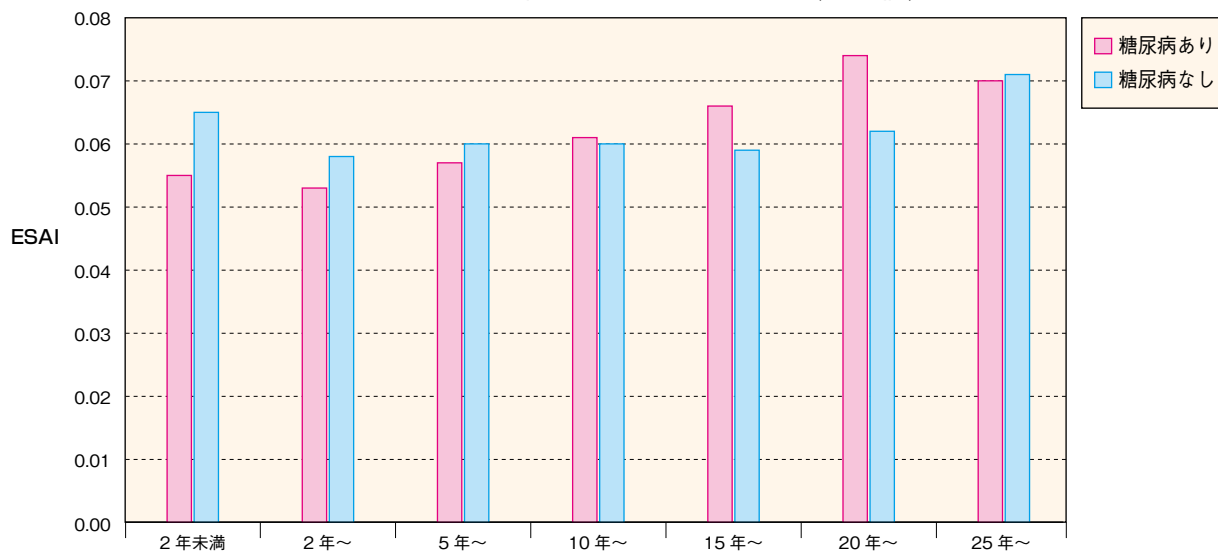


5) 腎性貧血

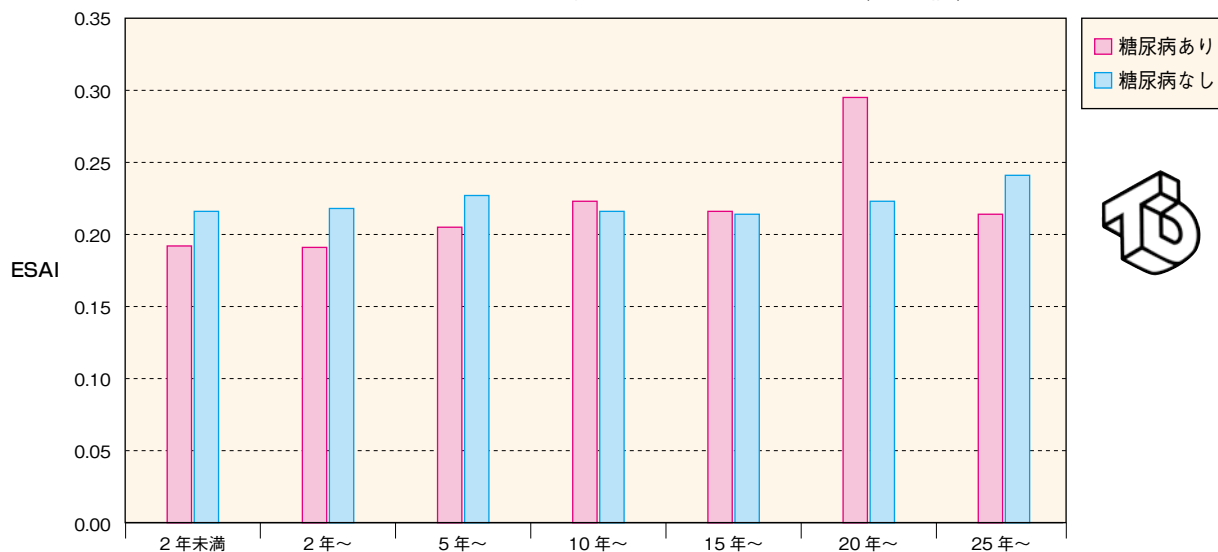
(7) 透析歴とESA抵抗性 (ESAI) (図表51)

ダルベポエチン投与患者における透析歴別ESAI(平均値)



透析歴		2年未満	2年~	5年~	10年~	15年~	20年~	25年~	合計	不明	総計
ESAI (平均値)	糖尿病あり	0.055	0.053	0.057	0.061	0.066	0.074	0.070	0.056	0.093	0.056
	糖尿病なし	0.065	0.058	0.060	0.060	0.059	0.062	0.071	0.061	0.108	0.061

エポエチンベータペゴル投与患者における透析歴別ESAI(平均値)



透析歴		2年未満	2年~	5年~	10年~	15年~	20年~	25年~	合計	不明	総計
ESAI (平均値)	糖尿病あり	0.192	0.191	0.205	0.223	0.216	0.295	0.214	0.200	0.034	0.200
	糖尿病なし	0.216	0.218	0.227	0.216	0.214	0.223	0.241	0.220	0.256	0.220

集計対象：施設血液透析患者

解説

ESA抵抗性 (ESAI) を「ESA投与量 / (Hb濃度・透析後体重)」で定義し、各種ESAで比較した。ただし、異なる薬剤間では、ESAIの単位が自ずと違ってくるので、比較できない。そこで、施設透析患者においてESAIが計算できる患者数が3万名以上であるダルベポエチン、エポエチンベータペゴルに関してのみ提示する。どちらの薬剤でも透析歴が長くなると糖尿病ではESAIが高くなるが、非糖尿病ではこのような傾向は見られなかった。